

KAWASAKI Z900RS/Z900RS CAFE 機械曲チタンサイクロン Duplex Shooter 政府認証

取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

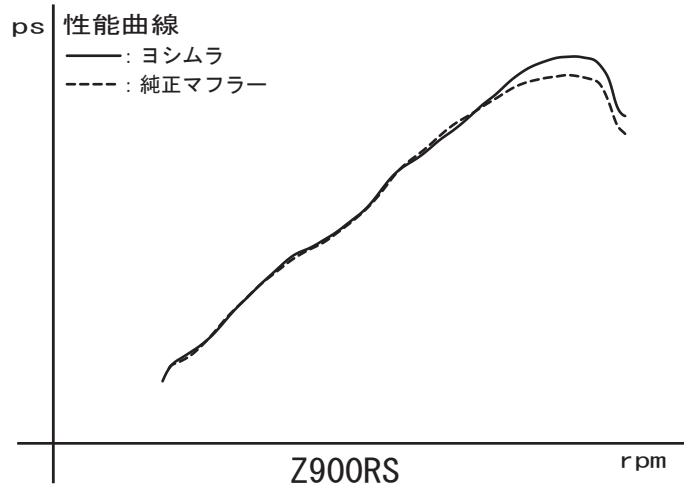
▲危険 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。

△注意 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。

参考 スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

車名	KAWASAKI Z900RS / Z900RS CAFE	
車両型式	2BL-ZR900C/8BL-ZR900K	
エンジン型式	ZR900BE	
認証番号	JMCA2020001169	
サイクロン型式	K269TCI11	
素材	SUS / Ti	
品番	メタルマジックサイレンサー	: 110-269-8220
	チタンサイレンサー	: 110-269-8280
	チタンブルーサイレンサー	: 110-269-8280B
重量	純正マフラー	: 12.0 kg
	メタルマジックサイレンサー	: 7.5 kg
	チタンサイレンサー	: 7.3 kg
	チタンブルーサイレンサー	: 7.3 kg

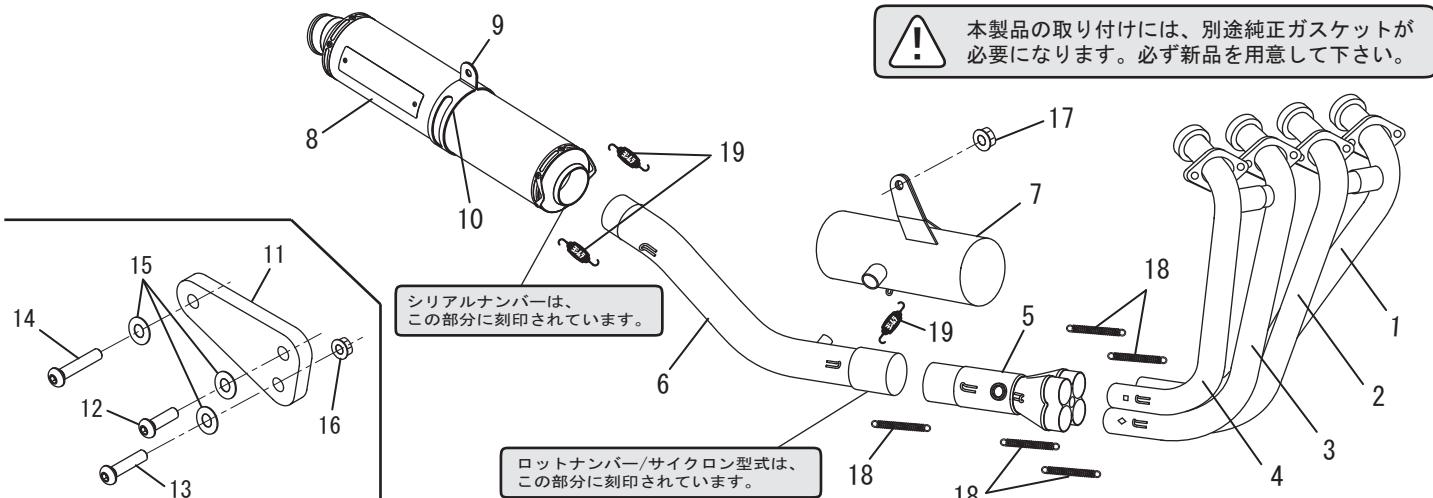


2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
有	可能	可能	可能*	純正品を使用	無	可能

* クリアランスが狭い所があるので、取り扱いに注意して下さい。

! 本製品の取り付けには、別途純正ガスケットが必要になります。必ず新品を用意して下さい。



N.O.	品名	数	品番	N.O.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ # 1	1	111-269-8200	12	ボタンボルト M8 × 3 0	1	803-208-5030
2	エキゾーストパイプ # 2	1	112-269-8200	13	ボタンボルト M8 × 3 5	1	803-208-5035
3	エキゾーストパイプ # 3	1	113-269-8200	14	ボタンボルト M8 × 4 5	1	803-208-5045
4	エキゾーストパイプ # 4	1	114-269-8200	15	ボルト用サラバネ M8	3	810-208-0000
5	集合部	1	119-269-5000	16	フランジナット M8 P 1. 2 5	1	823-008-1250
6	テールパイプ	1	115-269-8200	17	フランジナット M10 P 1. 2 5	1	823-010-1250
7	サブサイレンサー	1	139-269-826A	18	マフラーープリング ロング	5	118-000-1000
8	サイレンサー (メタルマジックカバー)		139-269-8220	19	マフラーープリング (フローティング)	3	118-001-0000
	サイレンサー (チタンカバー)	1	139-269-8280		スプリングインナーチューブ	5	118-000-1100
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		139-269-8280B		スプリング取付け工具	1	100-000-0000
9	サイレンサーバンド	1	162-15R-1059		自動車排出ガス試験結果証明書	1	H080251
10	サイレンサーバンド用スペーサーラバー	1	896-002-0536		自動車排出ガス試験結果証明書	1	2280187
11	タンデムブラケットステー	1	161-269-0320				

3. 取付方法

⚠注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. セット内容を確認して下さい。

⚠注意 オプションのセンタースタンドを使用している場合は、ヨシムラマフラー取り付けの前に取り外し、マフラーを取り付け終わった後に元に戻して下さい。
取り付けの際はマフラーとのクリアランスが狭い所があるので、マフラー、スタンド共に養生して行って下さい。
センタースタンドのかけ外し等もマフラーとの干渉に注意して行って下さい。



FIG. 1

2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照してO2センサーを純正マフラーから外し、純正マフラーを車両から取り外して下さい。(FIG. 1参照)

⚠注意 純正マフラーに取り付けられているO2センサーは衝撃を与えると故障します。取り外しの際は十分に注意し、外したセンサーはウェス等で保護して下さい。

3. 車両右側のタンデムステップを外して下さい。

4. 右側のタンデムステップ取り付け位置に、⑪タンデムブラケットステーを⑫ボタンボルトM8×30、⑮ボルト用サラバネM8を使用して仮締めして下さい。(FIG. 2, 3参照)

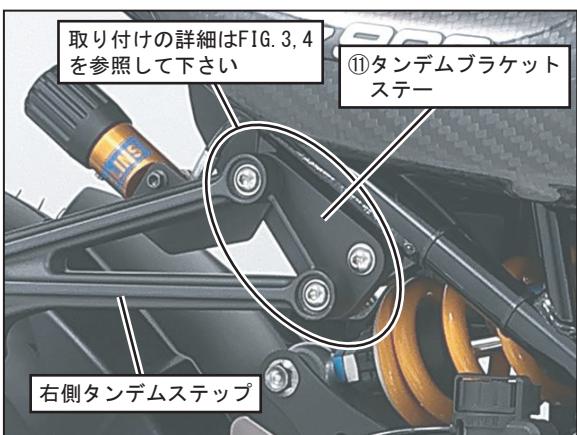


FIG. 2

5. 手順4で取り付けた⑪タンデムブラケットステーに、右側タンデムステップを⑬ボタンボルトM8×35、⑭ボタンボルトM8×45、⑮ボルト用サラバネM8、⑯フランジナットM8を使用して、⑭ボタンボルトM8×45→⑬ボタンボルトM8×35の順に仮締めして下さい。(FIG. 2, 4参照)

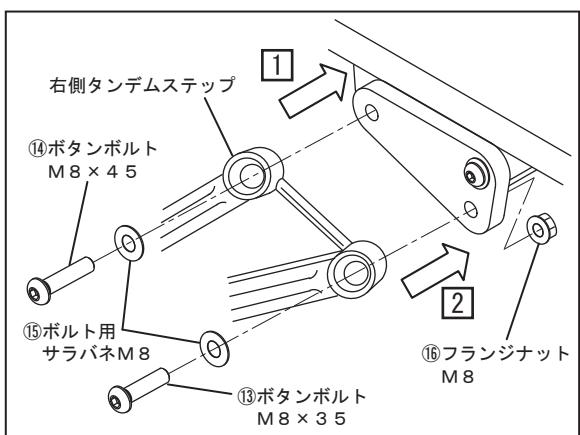


FIG. 4

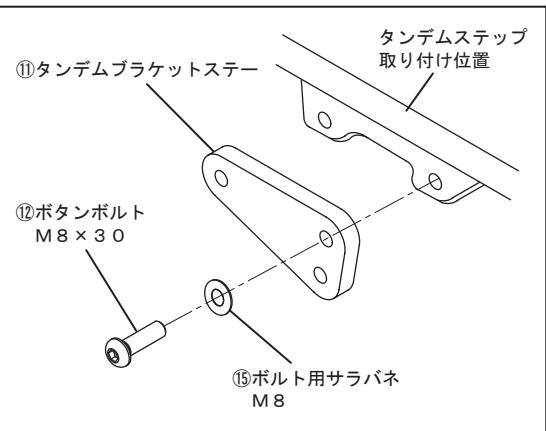


FIG. 3

6. ⑯マフラーープリングロングにスプリングインナーチューブを入れて下さい。(FIG. 5参照)

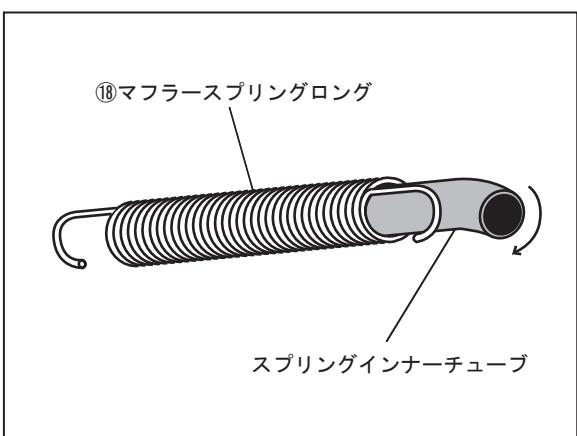


FIG. 5

7. エキゾーストパイプ①#1と②#2、③#3と④#4をそれぞれ連結させて、⑤集合部に貼ってある識別ラベルと同じ番号のエキゾーストパイプを⑤集合部に取り付け、スプリング取付工具を使用して⑯マフラースプリングロングを取り付けて下さい。（FIG. 6参照）

△危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）

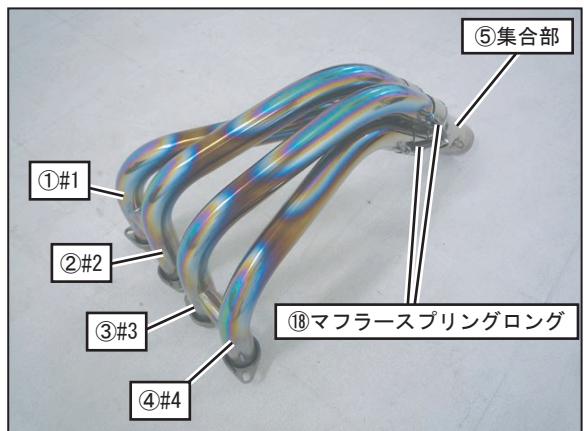


FIG. 6

8. 集合部の識別ラベルをはがして、良く脱脂して下さい。

△注意 識別ラベルはエキゾーストパイプ取り付け後、暖気運転前に必ず剥して下さい。
ラベルを貼ったままエンジンを始動しますと、集合部に焼き付いて色ムラとなって残ってしまいます。

9. エンジンの排気ポートに取り付けられているエキゾーストガスケットを新しいものに交換し、手順7で組み立てたエキゾーストパイプを排気ポートに取り付け、純正ナットを使用して仮締めして下さい。（FIG. 7, 8 参照）

△注意 取り付け中にマフラーや車両が傷つかないように、クリアランスが狭い所は予め養生してから作業を行って下さい。
特にラジエーターフィンは変形しやすいので注意して下さい。

参考 ガスケットは必ずメーカー純正品を使用して下さい。



FIG. 7

10. ⑤集合部に⑥テールパイプを取り付け、⑯マフラースプリングロングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。（FIG. 9 参照）

△危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）

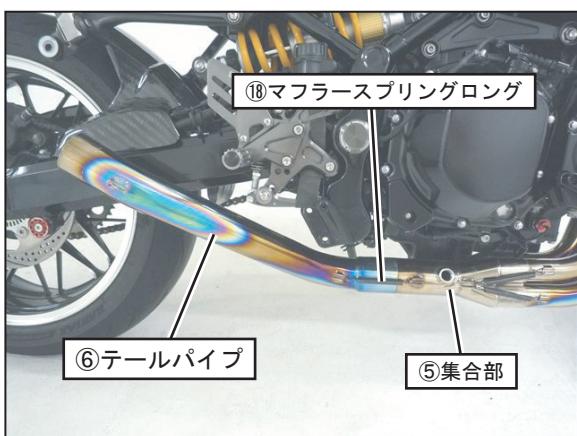


FIG. 9

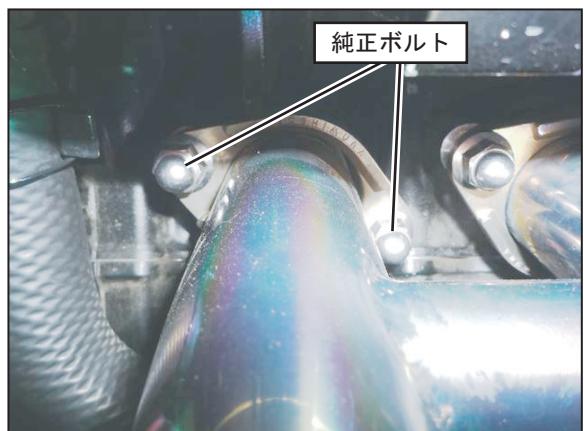


FIG. 8

11. ⑦サブサイレンサーを⑥テールパイプの連結管に取り付けて下さい。（FIG. 10 参照）

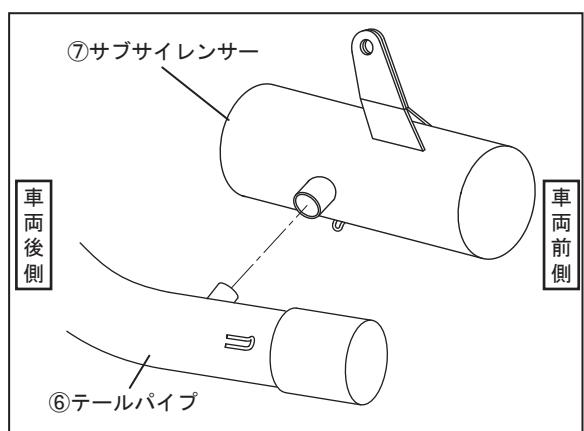


FIG. 10

12. ⑦サブサイレンサーのステーを車両下側の純正マフラーのチャンバーを留めるブラケットに合せ、純正ボルト、⑯フランジナットM10を使用して仮締めして下さい。
(FIG. 11, 12 参照)

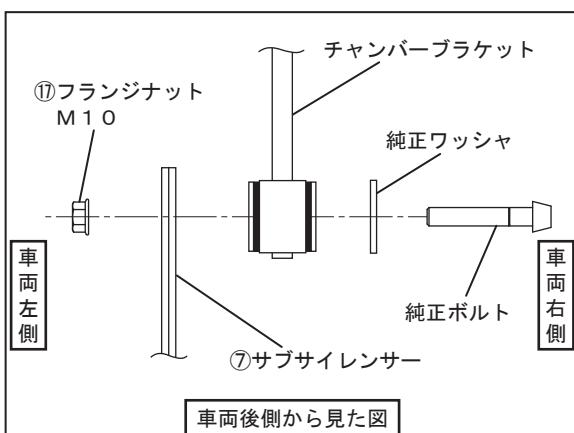


FIG. 12



FIG. 11

13. ⑥テールパイプと⑦サブサイレンサーに⑯マフラー スプリングフローティングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。 (FIG. 13 参照)

14. ⑧サイレンサーをテールパイプに取り付け、⑯マフラー スプリングフローティングをスプリング取付工具を使用して取り付けて下さい。 (FIG. 14, 15 参照)

▲危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に十分注意して下さい。(怪我をする恐れがあります)

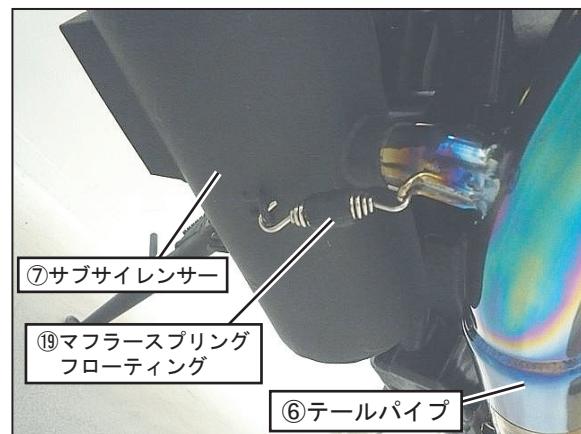


FIG. 13



FIG. 14



FIG. 15

15. ⑨サイレンサーバンドに⑩サイレンサーバンド用スペーサーラバーを通してから⑧サイレンサーに通し、純正ボルト、純正ワッシャ、純正ナット車両のタンデムステップ ブラケットに仮締めして下さい。
(FIG. 14, 16 参照)

△注意 ※サイレンサーを取り付ける際、バンドに表示してあるヨシムラのロゴが車体外側になるように取り付けて下さい。
※サイレンサーに対してバンドを斜めに取り付けすると、バンドやサイレンサーが破損する恐れがあります。
※バンドを仮締めする前に、サイレンサーとバンドの間に隙間が無い事を確認して下さい。隙間がある状態でバンドを締めると、サイレンサーのカバーが変形する恐れがあります。

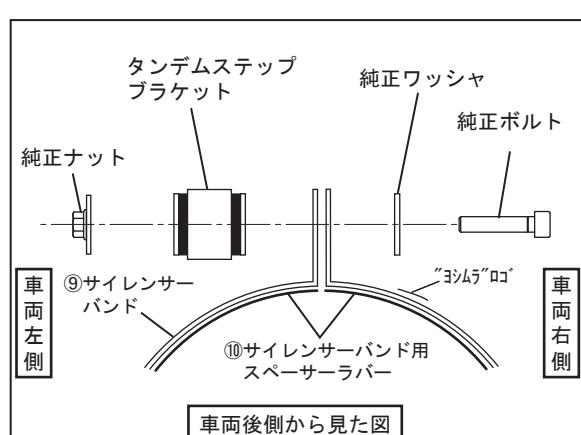


FIG. 16

16. 車両後方から見てサイレンサーの角度やマフラーと車両のクリアランスを調整し、エキゾーストパイプ→サブサイレンサー→タンデムブラケットステー→サイレンサー・バンド→の順に規定トルクで締め付けて下さい。
(FIG. 17 参照)

△注意	規定トルク	エキゾーストパイプ	: 15 Nm
		サブサイレンサー	: 28 Nm
		タンデムブラケットステー	: 23 Nm
		サイレンサーバンド	: 23 Nm



FIG. 17

17. ⑤集合部のセンサーボスに純正マフラーから外した○2センサーを取り付けて下さい。 (FIG. 18 参照)

△注意	規定トルク	○2センサー	: 45 Nm
※センサー取り付けの際は、センサーのコードがマフラーと干渉しないように注意して下さい。			

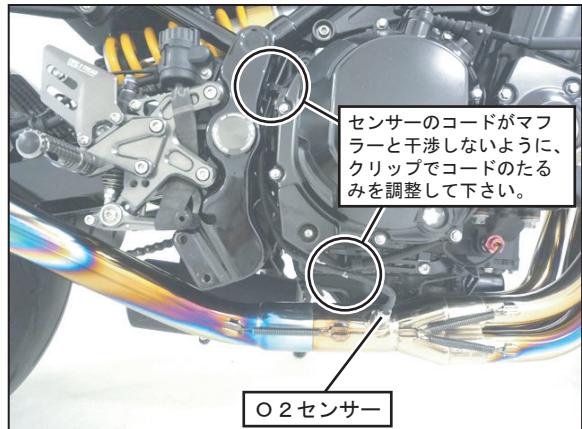


FIG. 18

18. マフラーと車両各部が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合は締め付けたボルト・ナットを緩め、干渉しない位置に再度調整して下さい。

19. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

△注意	※メタルマジックカバーやエンブレムの色落ちの原因になりますので、中性洗剤以外は使用しないで下さい。
------------	---------------------------------------------------

20. エンジンを始動して排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。



KAWASAKI Z900RS/Z900RS CAFE 機械曲チタンサイクロン Duplex Shooter 政府認証

タンデムステップオフセットステーセット
(PARTS NO. 194-269-0020)

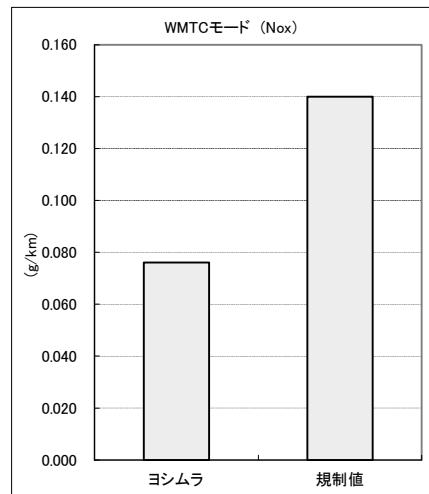
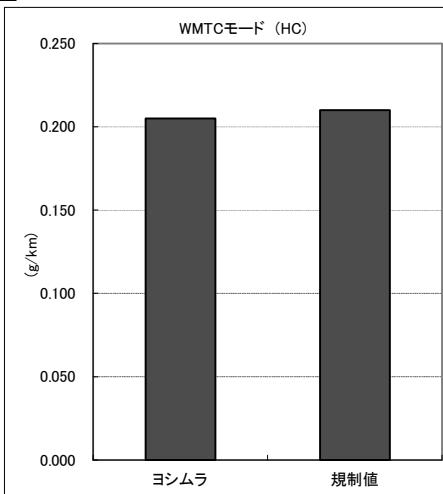
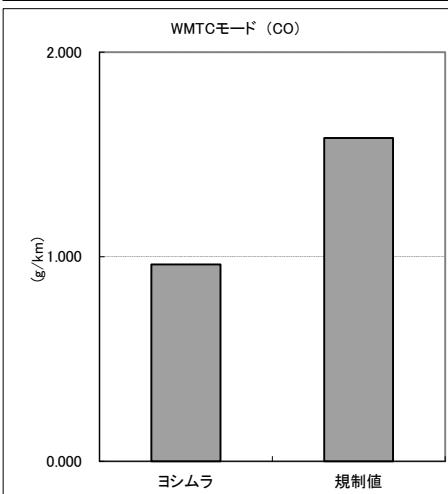


排気ガス、騒音データ表 (2BL-ZR900C)

○排ガス測定結果表

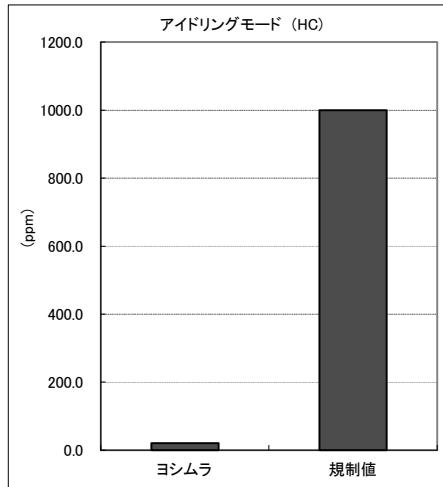
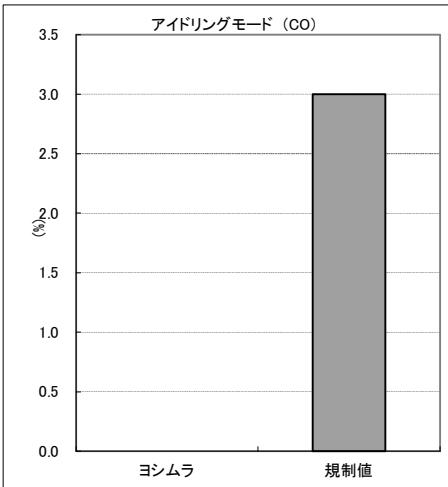
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.961	1.58
炭化水素HC(g/km)	0.205	0.21
窒素酸化物Nox(g/km)	0.076	0.14
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	99.5	規制無



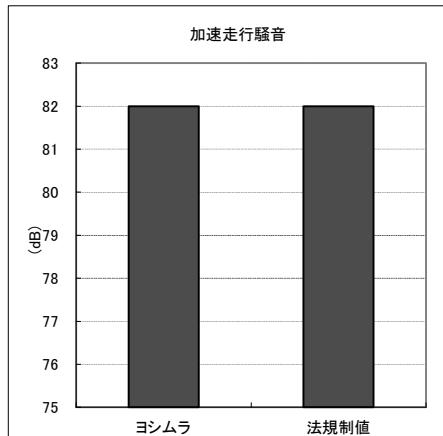
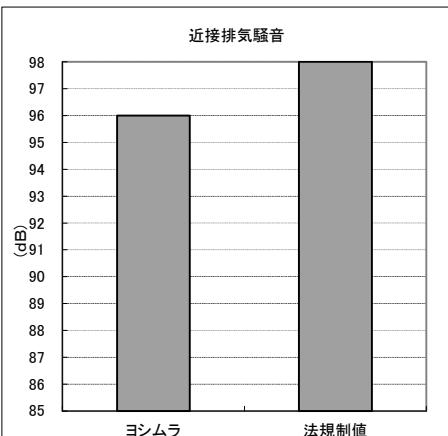
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	3.0
炭化水素HC(ppm)	20.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	96	98
加速走行騒音(dB)	82	82

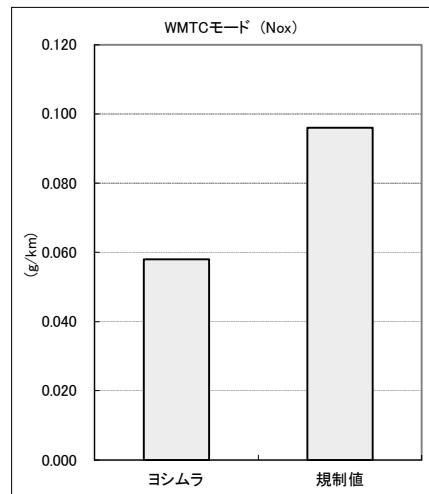
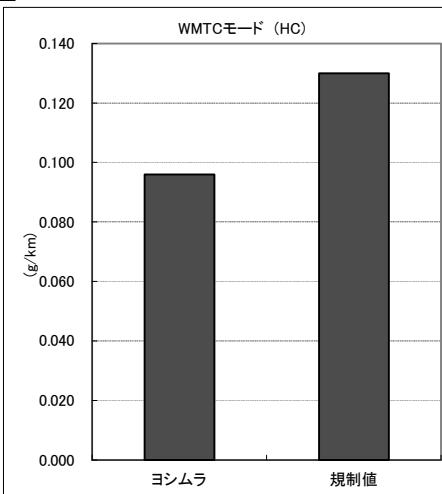
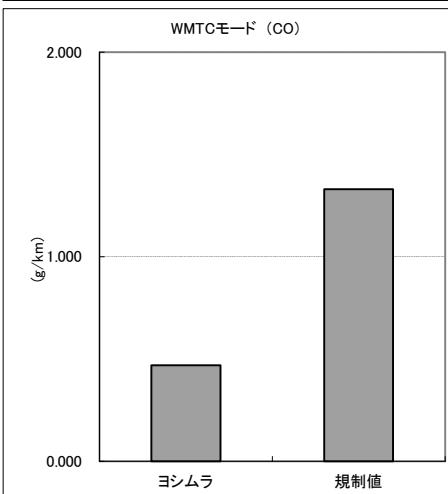


排気ガス、騒音データ表 (8BL-ZR900K)

○排ガス測定結果表

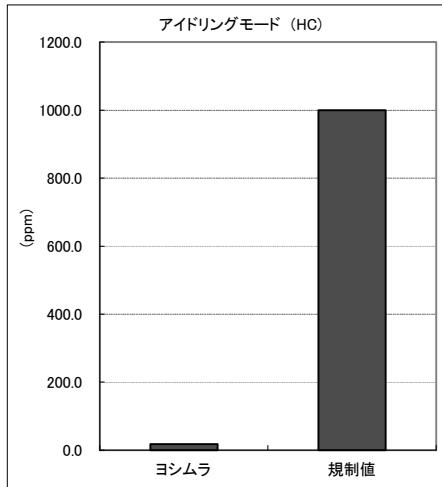
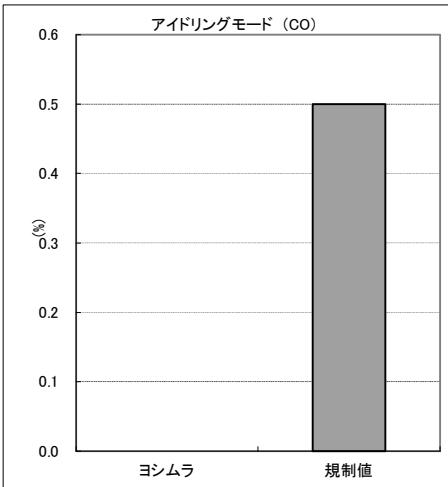
WMTCモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(g/km)	0.468	1.33
炭化水素HC(g/km)	0.096	0.13
窒素酸化物Nox(g/km)	0.058	0.096
二酸化炭素CO ₂ (g/km)	123.5	規制無



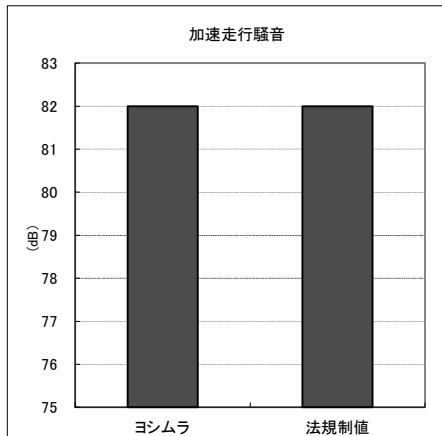
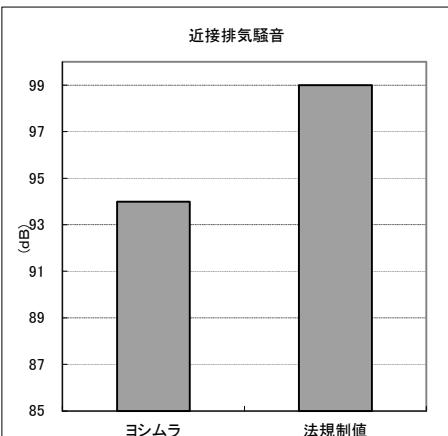
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.0	0.5
炭化水素HC(ppm)	18.0	1000



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	94	99
加速走行騒音(dB)	82	82



⚠ 重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのマフラーホットラインまでご連絡下さい。

⚠ 危険

※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。

※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。

※エンジン停止時に空吹かしをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠ 注意

※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。

※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

● High Flow Magicについて

※本製品は、マフラー内部にハニカム触媒を搭載したキャタライズドサイクロン“High Flow Magic”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

● ヨシムラサイクロンのメンテナンス

※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。

※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検（変形、キズ、車体との干渉等）を行って下さい。

※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。

※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

● 2年保証について

※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。

※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。

保証登録のご案内



※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。

長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となります。ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧下さい。

※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

アフターサービスのご案内



オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

● 「政府認証マフラー」について

※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。

※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJ M C A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン ☎ 243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

マフラークリーニングのご案内

・マフラークリーニングのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせのご案内

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

